

# 平成 25 年度 卒業論文研究計画書

## グローバル化の実態と課題

福田政道 (21011304mf@tama. ac. jp)

### 1. 背景と目的

経済や企業グローバル化は、世界の潮流となっている。その背景として、(1)輸送・通信分野の技術進歩による時間的・空間的距離の短縮、(2)規制緩和や市場開放など自由化の進展、(3)旧社会主義圏の崩壊と新興工業国の台頭により市場が世界的規模で拡大（市場経済規模は 27 億人から 55 億人に一気に倍増）したこと、が挙げられる。また、今後は、(4)インターネットを代表とする情報通信ネットワークの拡大、(5)NGO の国際的な活動の活発化等が世界経済の一体化を促進すると考えられている。日本でも現在、グローバル化という考えが日本で重要になっている。海外からの利益が国内より多く得られている企業もあり様々な企業が海外へ進出している。海外に工場を造り生産する方法や現地の企業に OEM する生産方法がある。また、貿易においてもグローバル化が進んでいる事や、大手企業をはじめ中小企業も外国人正規雇用者を多く採用するようになるなど海外進出をする事で日本企業は大きく変わり始めている。国内の学生は、企業のグローバル化により就職活動にも影響が出始めていると考えられる。特に、TOEIC や英語検定、英会話がどれ程出来るかの重要性は就職活動を行なう上で耳が痛くなるほど言われている。これだけ日本を始め世界でグローバル化と言われる中、実際に直面する事になる学生はグローバル化に対しどの様な認識をしているのか。また、どのような考えを持っているのかを知り学生のグローバル化に対する意識を把握する必要があると考える。

また、海外から見た日本を知りたいと考えている為、日本に来ている留学生に日本のグローバル化についてや母国のグローバル化について話を聞き、海外から日本の企業はどう思われているのかを調査したいと考えている。事例研究などを基にグローバル化の流れや実態を把握するなど様々な面からグローバル化といわれる事を調査しグローバル化とは何かから今後のグローバル化のあり方までを調査したいと考えている。

国内と海外での日本のグローバル化についての考えや現状、流れ、今後の動向について調査しグローバル化の実態を様々な面から見て研究をする。

### 2. 【研究方法】

質問紙調査：多摩大学生を対象にグローバル化に対する意識調査に関するアンケート調査を行う。

ヒアリング調査：多摩大学に来ている留学生に対して「日本のグローバル化に対するヒアリング調査」を行う。

事例研究：現在、日本企業が行なっているグローバル事業について把握する。

### 3. 【調査概要】

- ・調査対象：大学生
- ・調査方法：質問紙調査、ヒアリング調査
- ・調査内容：考察中

### 4. 今後のスケジュール

- ・研究計画書

7/13 : SRC

- ・質問紙調査

7月下旬 : アンケート内容、ヒアリング内容を考える

9月下旬 : 質問紙調査実施、ヒアリング調査実施

10月 : 調査結果分析、まとめ

11月 : 執筆開始

12月 : 卒業論文完成

### 5. 参考文献

- ・多摩大学 飯田健雄著 これならわかる国際経営入門